		学校周辺の写真	特色ある取組、実践等の紹介、研究会予定、URL 等
猿払村	浅茅野小学校		モダンなデザインの校舎、玄関ホールの掲示物には、アンネのバラ、百人一首など、へき地・複式の価値ある教育実践が語り継がれています。夏は一輪車に取り組み、運動会で披露します。冬は 「王子の森」でのクロスカントリースキーで体力づくりに取り組んでいます。地域の人的・物的資源を活用しながら、持続可能な教育活動を進めています。全校児童は１０名ですが、一人一人にきめ細かな指導を展開する中で、教師が知識や解決策を提示するのではなく、子どもがもつ知識や発見を大切にして、問いかけの中から、解決策を見いだし、自力解決できる授業を展開しています。ＩＣＴを活用した学校間交流を授業に導入しながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実践を進めています。https://asj-sarufutsu.edumap.jp/
	浜鬼志別小学校		校区である浜鬼志別地区は、水揚げ量全国一を誇る天然ほたて貝漁の中心地であり、 道の駅やキャンプ場、ホテルが置かれる「さるふつ公園」があり、村の観光・交流の拠点となっている。 本校の児童数は、昭和３０年代は１００名を超えていたが（昭和３３年　１３８ 名）、その後は減少を続け、今年度は２６名である。 保護者の多く（９割以上）は水産関係に従事しており、経済的に安定している家庭が多い。児童の多くがスポーツ少年団活動、ピアノやダンス、書道などの習い事をしている。保護者は学校の教育活動に対して、おおむね協力的であり、ＰＴＡ活動も活発である。一方、生活スタイルの変化や価値観の多様化などから、学校教育に対する要求も多様化してきている。https://hamaonishibetsusho.edumap.jp
	知来別小学校		猿払村の北の端に位置し、村内では１番古く創立 117 年目を迎えます。地域は、ほたて漁と酪農が栄え児童数は最大 208 名（昭和 20 年）から減少していますが、漁師を引き継ぎ世帯を持つ若者が増えており、現在児童数27 名となっています。学校に対する地域の関心、保護者の協力も高く、地域の方を招いての学習をはじめ、 新型コロナ感染症予防の休校中には、動画授業をいち早く取り入れました。教育活動や児童の様子は、学校ホームページで逐一、情報発信を行っています。 今年度は、全学級複式となりました。重点目標「気づき　考え　行動へ」のもと、子ども自身で気づいてほしいこと、大人が子どもに気づかせること等、（目で見て、耳で聞いて）「気づき」（頭で）「考え」「行動すること」を大切にした教育活動を進めていきます。https://cbes-sarufutsu.edumap.jp

枝幸町	目梨泊小学校		2018 年に金の刀が発掘された目梨泊遺跡に近い目梨泊小学校は、児童７名、教職員８名の小規模校です。今年度開校 124 周年を迎えました。地域は目梨泊漁港を中心に約 40 世帯あり、多くの方が漁業に従事しています。住民や保護者は、教育への関心が高く学校に対し協力的です。 今年度の重点目標は、【知　徳　体】「よく考え、表現する　子ども」「互いに思いやり、助け合う　子ども」「安全に行動する　子ども」です。帯タイムでは体力向上を目指し、一輪車、マラソン、なわとびの練習と漢字力向上のため漢字検定の取り組みを行っています。https://menashidomari-sho.edumap.jp
	岡島小学校		本校は明治３２年に開設し、１２５年の歴史を刻んでいます。小中併置校であった時期や、１００名をこえる在籍を数えたこともありますが、 現在は児童数１３名の小規模校となっています。校舎周辺は自然環境に恵まれ、 学校林の中を体力づくりで走るマラ ソンコースも設置されています。この環境を生かした取組により、 体力づくりで北海道教育委員会より３度の表彰を受けています。 特色ある教育活動として、 サケの燻製づくり、 一輪車の取組、 学校周辺や砂浜の清掃活動、 学校農園活動、そして校舎前には プランターで色とりどりの花苗を育てています。現在「岡小ドリル」「岡小テスト」を通じて家庭と連携し児童の学力向上を図っています。
	山臼小学校		本校の創立は、「物的財産は消えるが、教育こそ生命と共に持ち続け得る唯一の財産である」との考えから、地域住民・父母の熱意と労力奉仕によって、昭和２３年に開設されました。平成３０年１０月には校舎全面の耐震化工事が完了、現在に至っています。（令和６年度　児童数８名） 山臼小学校では、子どもたちが社会に出て働くであろう１０年後を見据え、未来を切り開いていくための資質・能力の育成を目指し、山臼小学校ならではの教育課程を社会と共有しながら、小規模校の特色である児童一人一人の良さを最大限に伸ばす「個に応じた教育」を推進しています。
	風烈布小学校		風烈布小学校は「地元に学校を」との地域住民の熱心な設置運動により、1925 年３月 音標尋常小学校風烈布特別教授場として開校しました。昭和の終わりには 30 名を超えていた児童数も平成になって年々減少し、現在は児童数１１名、教職員８名の極小規模校です。学校が地域コミュニティの拠点であると押さえ、長きにわたり地域と学校が連携・協働して地域全体で子どもたちの成長を支えています。 1976 年に子どもたちの健やかな成長を願って発足された「風烈布子ども会育成会」から多大なるご協力をいただき、様々な体験活動を通して豊かな心を育んでいます。教職員一丸となって、子どもたちのために一層充実した教育活動を推進してまいります。

	音標小学校		本校は、1900 年に寺子屋として開設され、昭和 40 年代には 100 名を超える児童数でしたが、子供の数は年々減り続け、一時は一桁まで減少しました。近年少しずつ児童 数が増加し、令和３年度に乙忠部小学校との統合により、現在は児童数３２名です。各学年とも複数の児童が在籍し、間接指導時の学び合いが行えるようになってきました。 本校の特色ある教育活動として、酪農体験、サケ稚魚飼育・放流、漁船乗船体験など地域のゲストティーチャーから産業や自然環境について学ぶ体験学習を多く取り入れています。また、枝幸町南３小学校による集合学習を行い、より大きな集団の中で学び合う機会の充実を図っています。https://otoshibe.edumap.jp
幌延町	問寒別小学校		明治 43 年７月８日に開校し、１１４年目を迎える問寒別小中学校は児童９名、生徒２名、教職員１４名の小中併置校です。幌延市街地から南東へ直線で約 20ｋｍ離れた、自然豊かな酪農地帯に本校が在ります。小規模校ならではの利点を生かしたきめ細かな学習・生活指導、小中一貫した様々な取組、ワラベンチャー問寒クラブ主催の自然体験 活動など地域と連携した行事など、地域とともにある教育活動を展開しています。 また、幌延町ＴＶ会議システムを活用し、幌延小学校や幌延中学校との遠隔授業や合同授業など、集団性を高めるべく、小中連携も進めています。 https://www.town.horonobe.lg.jp/www4/toikanbetsu/
礼文町	香深井小学校		本校は、明治 27 年に設置許可された１３０年以上の歴史と伝統を有する学校です。 開校以来、地域・保護者・教職員・町理事者など多くの人たちの支援と協力・協働 により、地域の学校として大きく発展しました。児童は体験と課題解決を重視した総合的な学習の時間や特別活動を教科の横断的な視点をもって体験しています。また、ICT を活用した教育活動も行い、一人一人に合った学習も行っています。特色ある教育活動は、保育所から高校までの礼文型教育連携が進められ、学力面で自信とやる気を育てる「礼文検定」と、ふるさと礼文に自信と誇りが持てる「礼文学」 の実践研究を町と連携し追究しています。 https://rebuntyouritukahukaisyougakkou.edumap.jp/

利尻町	仙法志小学校		本校は、明治 26 年利尻尋常小学校仙法志分校として創立し、以来 128年の歴史を重ねています。昭和 30 年代までは 300 名を超える児童が在籍しましたが、昭和 40 年代以降は過疎化、高齢化の影響で児童数が減少し、今後も児童数は 10 名前後で推移していく見通しです。平成 29 年度に「ICT 活用教育促進事業」実践指 定校となり、児童一人一台タブレットを初め、進んだ ICT 環境を生かした教育活動を進めています。今年度も、ＩＣＴを活用した個別最適な学習、異年齢集団による教え合い・学び合い学習等、少人数の強みを生かした教育活動を進め、児童一人ひとりの確かな資質・能力の育成を図っています。 https://senhoushisho.edumap.jp
利尻富士町	利尻小学校		本校は、明治 19 年に開校し、今年で 139周年目を迎えます。管内最古の教育発祥の地として優れた伝統を誇る学校です。利尻小学校は、鬼脇中学校と小中併置校として、高学年の算数・外国語・音楽を中学校教員が乗り入れ、小中一貫教育を推進しています。 全教職員が全国学力・学習状況調査の問題を解くことで、子どもたちが身に付けなければならない資質・能力（論理的思考力）を把握し、様々な教育活動に取り組んでいます。また、AI アプリ「Qubena」を活用して、指導の個別化を図りながら、学習の個性化へとつなげています。学校が地域の核として、連携・協働することで、地域の活性化を図り、信頼関係を構築し、子どもの成長を笑顔で話せる学校教育を進めます。 https://rishirifuji-town-rishiri-e-oniwaki-jh.edumap.jp/

稚内市	声問小学校		創立１３２年の声問小学校は、右手に日本最北端の宗谷岬、左手に稚内市街地を裾野としたノシャップ岬のほぼ中央に位置し、古くから酪農や漁業が基幹産業となっていました。近郊には北海道立宗谷ふれあい公園など観光施設もあり、毎年、多くの方がこの地に訪れています。また、北海道稚内養護学校や老人医療福祉施設なども集中し、文教・福祉の地域として発展しています。 本校においても地域の関係機関と協力しながら「声問地区ノーマライゼーション」に参加し、地域一帯となった福祉教育活動を推進しています。令和３年度から「SDGｓ」教育に取り組み、声問から様々な発信を行っています。 http://wakkanai-koetoi-e.edumap.jp/

	天北小学校		本校は平成１４年に、小学校７校、中学校５校の１２校を広域統廃合して新設された小中併置校である。校区は南北に２０ｋｍ、東西に１０ｋｍと広大で、校名はこれらの地域が「旧国鉄天北線」の沿線であったことに由来すると思われる。今年度は開校２３周年を迎える。 小中併置校の特性を生かした「縦割り班活動」に力を入れ、「天北太鼓」や「天北ソーラン」など小中合同で取り組んでいる。また、学校の様子や地域の実態を交流し合う 「地区懇談会」も各地区で開催されるなど、地域や保護者とのつながりも強い。 ＵＲＬhttp://wakkanai-tenpokuschool.edumap.jp
	宗谷小学校		全校児童２３名の本校は、宗谷の海と利尻富士が一望できる絶景が広がり、裏山には観光スポット「白い道」が続く自然豊かな場所にある。玄関正面の大水槽「宗谷小水族館」は、保護者（漁師）から運び込まれたホタテやカレイ等数種の魚や貝類が、生きた教材として皆の目を楽しませている。総合的な学習では、毎夏学校前の海で「磯遊び」をし、採捕した魚を 観察→調べ学習→学習発表につなげている。読書活動では、昨年に引き続き全校の読書冊数を合計し、子供たちを乗せた船「なぎさ丸２号」を日本の港～世界へと進めている。只今アジアからオセアニアに航行中。また、パワーアップタイムでの体力づくりも盛んで、知・徳・体のバランスの取れた子供の成長を目指している。https://nagisanoko-e.edumap.jp
	大岬小学校		大岬小学校は、開校１３１周年、日本最北端に位置する歴史と伝統のある学校です。へき地３級、１、２、３、４年生が単式、５、６年生が複式で、全校６学級で児童数５４名、教職員数１２名の学校です。宗谷岬の強い風にも負けず、毎日、学びも遊びも全力で取り組んでいます。 ５４名の児童が学ぶ大岬小学校、みんなで学び、みんなで育つ、 日本一仲のよい学校を目指して、日々の教育活動に取り組んでいます。 https://oomisaki-e.edumap.jp

	富磯小学校		富磯小学校は 1900 年に宗谷南尋常小学校として認可を受けて開校、現校舎は平成 23 年１月に新築されました。今年度の児童数は１２名。整った環境の中で、子どもたちは、いきいきと毎日の学習や諸活動に取り組んでいます。本校では、１９８８年より行っているサケの稚魚放流、２０００年より行っている沖縄県石垣市立明石小学校との交流活動など、特色のある教育活動を行っています。 今年度の重点、『一人一人が主体的に学びに向かい、自分や周りを見つめるなかで、仲間を大切にして活動する子』の育成を目指し、学校・保護者・地域が連携しながら、日々の教育活動の充実に努めていきます。 https://wakkanai-tomiiso-e.edumap.jp/
豊富町	兜沼小学校		本校は、児童生徒２１名（小学生１７名、中学生４名）教職員１２名の小中併置校です。地域には兜の形をした「兜沼」があり、春には白鳥や雁など渡り鳥が数多く飛来します。また、牧草地が広がる自然豊かな酪農地帯です。地域住民や保護者は、教育への関心が高く協力的で、運動会、夏祭り、文化祭は地域を挙げて取り組みます。また、 令和元年度より小規模特認校の指定を受け、広く児童生徒の受け入れをしています。 R3 からは学校デジタル化も進めてきており、「少人数だからこそできる、個別最適な学びの実現」を目指して教育活動に取り組んでいます。